

令和 8 年第 3 回熊野町議会全員協議会

会議録

1. 招集年月日 令和 8 年 5 月 2 2 日

2. 招集の場所 第 1 委員会室

3. 開会年月日 令和 8 年 5 月 2 2 日

4. 出席議員（12 名）

1 番 藤 本 健 太	2 番 世 良 将 生
3 番 水 原 耕 一	4 番 福垣内 邦 治
5 番 光 本 一 也	6 番 中 島 数 宜
7 番 尺 田 耕 平	8 番 竹 爪 憲 吾
9 番 沖 田 ゆかり	10 番 片 川 学
13 番 大瀬戸 宏 樹	14 番 時 光 良 造

5. 欠席議員（1 名）

11 番 民 法 正 則

6. 説明のため出席した者の職氏名

【健康福祉部】

（1）保育施設への和解金について（報告）

町 長	三 村 裕 史
副 町 長	岩 田 秀 次
教 育 長	平 岡 弘 資
総 務 部 長	佛 圓 至 裕
健康福祉部長	西 村 ゆ り
総 務 部 次 長	多久見 良 数
健康福祉部次長	井 原 志保里
財 務 課 長	堀 野 准
子育て支援課長	熊 野 孝 則

7. 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議 会 事 務 局 長

桐 木 和 義

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

8. 案件

【健康福祉部】

(1) 保育施設への和解金について（報告）

【議会】

(2) 文教福祉委員会の活動報告について（報告）

(3) 議会運営委員会の活動報告について（報告）

(4) 議員の派遣について（協議）

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

9. 議事の内容

（開会 9 時 2 7 分）

○議長（時光） おはようございます。

議員の皆様方、また、執行部の皆様方におかれましては、本日はお忙しい中、全員協議会にお集まりいただきましてありがとうございます。

本日の全員協議会では、執行部から報告案件 1 件について説明を受けることとし、後ほど議会からの案件について御協議いただきたいと思います。また、全員協議会が終了後、議会改革特別委員会を開催したいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、皆様方の様々な御意見をいただきながら、円滑に進めていきたいと考えておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

協議会の開会に当たりまして、町長から発言の申出がありましたので、これを受けたいと思います。

三村町長。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○町長（三村） 皆さん、おはようございます。議員の皆様方には、大変お忙しいところお時間をいただき、誠にありがとうございます。

まず初めに、先般の臨時議会におきまして、入院のため欠席をいたしまして、皆様に多大なる御心配と御迷惑をおかけいたしましたことを深くおわび申し上げます。

さて、本日の協議会では、1 つの報告案件について説明をさせていただきます。

本件につきましては、「保育施設への和解金について」のこれまでの経緯を町としての対応方針、また、今後の方針、進め方等について詳細を説明させていただきます。

議員の皆様方におかれましては、御理解、御支援を賜りますようお願い申し上げ、御挨拶といたします。どうかよろしくお願い申し上げます。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） それでは早速、協議会に移ります。

執行部につきましては、説明は着座で構いません。よろしくお願いいたします。

報告案件、「保育施設への和解金について」、執行部から説明を受けたいと思います。

西村部長。

~~~~~○~~~~~

○健康福祉部長（西村） それでは、「保育施設への和解金について」、お手元の資料 1 により説明をさせていただきます。

まず 1、要旨ですが、町内の保育施設・対象としては 1 施設ですが、町との協議を受けて利用定員を超過した児童の受入れを行った結果、協議時に想定されていなかった「定員超過による減算調整」が発生し、保育施設への施設型給付費が減額され、保育施設の経営に支障が生じる事態となったことから、その経緯及び今後の対応について報告させていただきます。

2、保育施設の減額調整と経緯（1）減額調整発生の仕組みについてです。

従前までは、利用定員超過が 5 年連続で減算調整の対象となる制度でしたが、これが「2 年連続」に変更されていました。当該保育施設においては、令和 5 年、6 年度の 2 年間定員超過での受入れが既に行われており、かつ、各年度の年間平均所在率が 120%以上の状況となっていたため、令和 7 年 4 月から施設型給付費の減額調整の適用を受けることとなったものです。

次に、（2）減額調整を受けることとなった要因です。

令和 6 年 12 月、令和 7 年度の受入れ人数について協議を行った際、町は、減額調整の要件となる「連続する 2 年間」を、従前制度変更前の「連続する 5 年間」と誤った認識で説明を行い、定員の弾力化として利用定員を超えての入所依頼をし、保育施設に了承いただきました。結果、令和 7 年 4 月には既に減額調整の要件を満たした状況にもかかわらず、令和 7 年度も定員を超えた状態でスタートしました。減額調整の要件となる連続する 2 年間で、町・保育施設ともに認識していなかったことが要因です。

続いて、（３）減額調整の解除要件です。

減額調整の適用を受ける施設については、「利用定員の見直しが行われた場合」または「当該年度における年間平均在所率が１２０％以上の状況にならないものと認められる場合」には、見直し等が行われた日の属する月の翌月から減算調整の適用がないものとなります。当該保育施設は、令和８年２月から定員変更・増員をして定員内の児童数となったため、減算調整の期間は令和７年４月分から令和８年１月分までとなりました。

３、和解金についてです。

本件は、町が誤った認識で説明をしたこと及び定員変更について適切に指導ができなかったことが減算調整を受けることとなった一因と考え、下の表に示しているとおり、町が制度変更を適切に指導し、令和７年４月から利用定員を変更していた場合の年間給付額 ①と減額調整した額②の差額である③を和解金の対象とし、減額調整に係る改正は、町・保育施設ともに公的に通知されており、双方ともに誤った認識であったことから、③の額を折半した額である２０７万円を和解金とするものであります。

このことにつきましては、和解についての議会の可決を条件としたものではありませんが、保育施設と和解をしております。

４、今後のスケジュールです。

６月上旬の定例会に、和解について議案の提出及び補正予算を計上させていただきます。議決をいただきますと、６月下旬には保育施設へ和解金を支払う予定です。

５、今後の対策についてです。

１つ目、「国からの通知等の情報を漏れなく把握する」です。

子ども・子育て関係については、基準等が毎年変更があります。にもかかわらず、国の通知等の確認が担当者任せになっていたため、主担当・副担当を設定し、複数人でのチェック体制を確立するとともに、起案等に添付する根拠規定は、毎回こども家庭庁のホームページから取得するなど、最新情報での確認を徹底いたします。

２つ目、「各保育所との連携を密にして情報共有を図る」です。

国の通知等を各保育施設へ確実に共有するため、メール送信の宛名に担当グループリーダーを追加し、送付漏れ等に対するチェック体制を確立します。また、各保育施設への影響の大きい通知等については紙で配布するなど、より一層連携を密にします。

３つ目、「安定した保育運営ができる環境づくりを推進する」です。

町内の保育ニーズの高まりにより、依然として定員を超えた入所を依頼している状況

であるため、各保育施設と定員変更について適宜協議するとともに、引き続き「保育士確保」や「施設整備」について検討してまいります。

最後に、参考として用語の説明を記載しております。

以上で説明を終わります。

○議長（時光） 執行部からの説明が終わりましたので、この報告について質疑があればお願いします。

藤本議員。

~~~~~○~~~~~

○議員（藤本）　ありがとうございます。これはいつ、どのような段階で、どのような形で分かったのでしょうか。

○議長（時光） 熊野子育て支援課長。

○子育て支援課長（熊野） 令和7年の10月に、通知等を確認している中で分かったというのが状況でございます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 藤本議員。

~~~~~○~~~~~

○議員（藤本） 分かりました。先ほど改善策のほうが出てたと思うんですけど、お互いちょっとこういうことがないように、今後もよろしく願っています。

○議長（時光） ほかにありませんか。

光本議員。

○議員（光本）　これ、具体的に施設はどこですか。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 熊野課長。

~~~~~○~~~~~

○子育て支援課長（熊野） 施設名は匿名とさせていただきます。ほかの損害賠償などの議案と同様で、そういったものは明記しない扱いとさせていただきます。

本件、先ほど説明のとおり、減額調整された部分を町と相手方で折半とする内容でございます。相手方も誤った認識により受けることができなかった収入の一部があるといったことで、保育施設の明記を避けております。二次的な不利益を保育施設のほうに被ることも懸念されるため、匿名とさせていただきます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 光本議員。

~~~~~○~~~~~

○議員（光本） 分かりました。1施設だと思うんですけども、ほかの施設についてのチェック、確認は行っておりますか。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 熊野課長。

~~~~~○~~~~~

○子育て支援課長（熊野） これは令和7年度のことだったんですけど、ほかの施設ではこういったことは起きておりません。今年度、令和8年度につきましても、このようなことは起きていない状況でございます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 光本議員。

~~~~~○~~~~~

○議員（光本） この件について、本件に関係しとるといえるか、この施設以外にこういう事案があったという説明はされていますか。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 熊野課長。

~~~~~○~~~~~

○子育て支援課長（熊野） ほかの施設に対して、この件の説明はしておりません。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 光本議員。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
○議員（光本） これ具体的に名前を出す必要はないということなので、それはそれでいいんですが、こういった件を具体的に他の施設へもやはり情報共有すべきだと思いますので、その辺は検討をよろしくお願いします。

終わります。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
○議長（時光） ほかにありませんか。

尺田議員。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
○議員（尺田） この207万円の給付の財源なんですけれども、単町で払うんでしょうか。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
○議長（時光） 熊野課長。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
○子育て支援課長（熊野） 6月議会で補正のほうを出させていただきまして、単町と考えております。

以上です。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
○議長（時光） 尺田議員。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
○議員（尺田） これはまともにいっとったら、国なりの給付も受けられたということですよ。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
○議長（時光） 熊野課長。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
○子育て支援課長（熊野） 4月に定員超過分のところまでの定員に増やすという作業をしておれば、表の①の額が入っていたというものでございます。

以上です。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

~~~~~○~~~~~

~~~~~○~~~~~

~~~~~○~~~~~



に実施を計画してみました。時期については、8月24日月曜日、午後1時半から4時を目途に計画をしております。それから参加人員は、今回は小学生18名を予定しております。グループ分けに関しては6グループで、議員が1名ついて小学生3名ということで、計4名で1グループを形成していこうと思っています。

テーマに関しては、熊野を住みたい町、住んでよかったと思える町にするために、魅力あるまちづくりに何ができるか、こういったことをテーマにしていこうかなというふうに思っています。

それから次には、資料の2のほうに「ワールドカフェとは」というのがありますが、これは一昨年に利用した内容とほぼ変わっておりません。1ラウンドから4ラウンドをメンバーが入れ替わったりしていろんな意見交換をして、最後に振り返りをするというものであります。これはまた目を通しとっていただきたいと思います。

次に、開催要項として、先ほどとちょっと重複するかもしれませんが、小学生の18名、それから議員で13名、計31名でグループを編成したり、テーマを議論したりとかいうふうな形を進んでいきたいと思っています。

ここの6番目に、日程と内容ということで表になっていますが、これも一昨年のもので大きく変わっておりません。開会から始まって終了までが大体16時ぐらいまででやっていこうかなというふうに思っています。

次のページに、24日に行うわけですけど、準備のところとワールドカフェのところをちょっと表を分けていますが、会場づくり等々があります。そのために11時から集合していただきたいと思います。案内板であったりとか机、そういったものを皆さんと一緒にお願いしたいと思っていまして、おおむね11時ぐらいからお手伝いをいただきたいと思っています。

それから、ワールドカフェそのものは下にあるような表にしていますけれども、自己紹介、アイスブレイク、ルール説明等々をやっていきたいと思っています。

次は、ワールドカフェの役割です。委員会を先週開催しましたけれども、そのときに皆さんからのお手伝いをいただきたいということもあって、役割は司会進行からタイムキーパーまでの役割があらうかと思っています。その中にそれぞれの議員の皆さんにお手伝いいただきたいということで今、表にしております。ホスト、グループの中に入っていて、皆さんと一緒にやるということとか、受付は1階が中心になるんですかね、1階のほうで皆さんを案内したりとか、休憩時間に少しお遊び程度感覚のアイスブレイ

クを取ってますけど、前々回は荒滝議員にお願いしましたけど、今回は藤本議員のほうにお願いしたいと思っています。

それから、ルールとテーマ関係、前は沖田議員にやってもらいましたが、今回は光本議員にお願いできないかなということで書かせていただきました。

あとは、いろいろ忙しいでしょうけれども、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

次に、チラシの関係なんですけど、最後のページになります。今回は募集型といいますか、そういう形で各小学校のところにこのチラシをお届けして、参加していただくかなという形を取っています。一応定員が18名ということではあるんですけど、何人来るかちょっと分かりませんが、その結果によって関係のところと調整が必要であれば調整をしていかなといけんかなと思ひますが、最低18名はどうかなと。仮に4人になるテーブルもあるかもしれませんが、それはそのときに結果によって判断していきたいと思ひます。

募集型ということにしてますけれども、一応参加の可否を各小学校のほうに届けていただくというふうにしております。7月3日までに学校のほうに届けてくださいという案内をしていこうかと思ひます。これは6月5日に校長会が開催される予定になってますので、その席上でこのチラシを各校に配布して参加を募ろうというふうに思ひます。

そういったことで、一昨年に続き、今回は小学生が対象ということではありますけれども、皆さんの御協力ほどよろしくお願ひします。詳細はまた別途タブレット等で見ていただいとったらいと思ひますが、この件に関して何かありますでしょうか。

ないようでしたら、また今年も行いたいと思ひますので、御協力のほどよろしくお願ひします。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 世良議員。

~~~~~○~~~~~

○議員（世良） 前は確か中学生対象で、今見たら28名ぐらい参加者があったと思うんですけど、今回は定員が18名ってえらい少なくなった理由というか、その辺りをちょっとお聞かせ願ひたいんですけど。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉委員長（中島） 分かりません。分かりませんが、とはいっても、例えば第1

小学校は人数も多いし、第2は人数も少ないということはあるんですけど、ましてや募集型にしてるということもあって、前は学校のほうから東は何人、中学校区のこっちは何人という形があったと思うんですけど、募集型にしとるんでちょっとそこが不透明なところもあるんですけど、18名にしていますけど、結果的に倍まではならんかも分らんけど、増えればまた調整は関係のところとしていきたいと思っています。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） ほかに御質問はありませんか。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○文教福祉委員長（中島） 役割のところも特にいいですかね。

じゃあ、よろしくお願いします。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） 一応、今皆さんで御了承いただいたら、今日、委員長と2人で教育長のほうへお願いに行く予定でございますので、お願いします。

藤本議員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議員（藤本） 持っていかれるということなので、チラシなんですけど、人数のことと
かって18名しか書いてないじゃないですか。どうなんですかね、人数がいき次第締め
切りますよとか、そういう一文は入れとかないと、学校によって集める時期が違えば、
やっぱり参加者が多数入ってきて、それはありがたい話なんですけど、50人、60人
って例えばなったとしたら困るので、どこかにその一文は入れたほうがいいのかない
うふうには思います。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） 中島議員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○文教福祉委員長（中島） 確かにある程度学校単位で割付をしてお願いしますというの
が一番いいのかも分らんですけど、さっき言った学校の規模によって違ったりとかい
うのもあるので、例えば第1小学校と第2小学校はどうなんだといったときにそういう
状況が心配されるんですけど、結果として、例えば10人ぐらい、28名、30名ぐら
いになったときにどうするかというのはちょっと出てくるかと思うんですけど、やっぱ
りどうなんですかね。50人も60人も出てくるとちょっと思えんけれど、ちょっと状

況を見ながらそこはコントロールさせてください。

~~~~~○~~~~~

○議員（藤本） 分かりました。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 光本議員。

~~~~~○~~~~~

○議員（光本） ちょっと今の関連なんです、この定員18名っていうのはあまりにも少な過ぎるんじゃないかと思うんですよね。各校が5人来ても20人でしょ。前回、中学生のときに結構多かったと思うんですが、多いと感じんかった私は、テーブル、ホストか、についてやったんですよ。それで六、七人おったと思うんですが、そんなに多いとは思わんし、意見があまり出んのんですよ、最初のうちは。だけん、できるだけやっぱり人数は多いめで、マックスの人数を例えば30人ぐらいにして、各校7人なら7人にして、恐らくあんまり来んような気がするんで、補足説明されるんでしょうけど、18名いうたら各校4人か5人ですよ。これを見ただけで4人か5人に絞らんにゃいけんみたいなことに誤解されるような気がするんで、定員30人ぐらいにしてから7人、8人ぐらい各校出られるようなことでスタートしたほうがええような気がするんですがね。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） あんまり人数が多かったりすると、テーブルでのまとまりがなかなかできないと思うんですよね。だから、これに関しては学校のほうで準備するんじゃなくて、我々のほうで対応するという事になってるんで。

学校としては、過去においてはワールドカフェに来るために随分準備が必要だったということがあったらしいんですよ。それはちょっと今回は難しいということで、希望者の参加いう形にしたんですけど。18人いうのが多いか少ないかというのは、確かに。ただ、30人となるとちょっと対応できるかなと。

片川議員。

~~~~~○~~~~~

○議員（片川） どうなんじゃろうか。我々静観して外部から見とった形よね、今まで。ホストの実感として、今、光本議員の意見はそういう意見だったね。ほかのホストの方がどう思われたかよね。

学校の対応については、4人が6人になろうと変わりやすまん思うねん。その辺、ホ

ストの実感として、された方がどう思われたか聞いてみてください。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） 藤本議員、まず、何もないですか。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議員（藤本） その人数でやれと言われれば逆にやるしかないので、例えば極端な話、1人だろうが10人だろうが、何とか自分の持つとるものでそれを進めていけばいいかなと思うので、そこに関してはどちらでもと言うとちょっとあれかもしれないんですけど、決められたものでやれるとは思いますが。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） 片川議員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議員（片川） 今の光本さんおっしゃったことに関して、意見が出やすいとか、出にくいとか、人数によってどんなもんなんじゃろうかね。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） 藤本議員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議員（藤本） もちろん引っ込み思案であったりとか、すごく積極的だったりとかって、子供たちにいろいろ様々あると思うんですけど、それをやっぱりホストが引き出してあげるという形にしなきゃいけないと思うので、とはいっても、10人おればやっぱり難しいところはあるとは思いますが。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） 福垣内議員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議員（福垣内） 前回、私もホストをさせていただいたんですけども、前回6人から7人程度のグループだったと記憶してますけれども、そのときの中3生と今回の小学6年生を同じぐらいの感覚で語るのはちょっと無理があるんじゃないかと。その小学6年生と中学3年生では、正直大分別物ではなかろうかと思うんですね。ですので、小学6年生は初めて我々是对するんだということで、人数の型もですけども、中3生のときに比べて、言葉を選ばずにいうとがちゃがちゃになりやすいんじゃないかな、後半はという気はしております。



ほうがいいですよ。あとは、要はホストである議員が、テーブルホストがいかに進行をスムーズにいろいろな意見を引き出すことができるかというのが勝負やろうと思うんです。

ということがあるので、さっき福垣内議員の話もありましたが、中3たちのレベルが違うんで、やっぱりできるだけ大人数にしたほうが、今回は小学生は特に必要だろうと思いますね。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） ほかにありませんか。

沖田議員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議員（沖田） 前回までの中学3年生の子がいてたときに、学校の準備で何が大変だったかということ、社会科の授業で一応先に練習するんですよ。議員さんのところで話をするのに失敗しないようにというか、先生の考えで、一応事前にこういうふうやっていこうねみたいなものをやるので、逆に今度私たちが受けるときに、大人が考えたような意見しか出なくて面白くないようなときもあったんですが、全くさらのまんまで来てもらって意見を出してもらおうというのが理想なので、ある意味、今回は小学生になったということで、教育委員会としても、学校としても、募集はかけるけれども、これまでみたいに先生が引率してきたりとかいうことじゃなくて、我々議員が全てエスコートしていくというような形を取るみたいなので、そこはもう少し丁寧に我々がやっていかないといけないし、前回私がやってみて感じたのは、今の3人だと、テーブルが4つあって3つは子供が座って1つはホストが座るという形になるから、子供たちの中に入っている感じなんですよ。前回のときには、4つは全部子供たちで、こっち側にホストがいたという記憶があるので、増やすとすればせめて3人よりは4人。多ければいいというのは我々の思いではあるんですけど、実際にそういう形で募集をかけて一体何人の子供たちが手を挙げてくれるのかなという心配もありますし、だから、増やすとしたら、今の各テーブルに3人ではなくて4人ぐらいかなというふうに私は思います。

以上です。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） 尺田議員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議員（尺田） わしも。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） こっち向いたんやから。逃がせへんで。

~~~~~○~~~~~

○議員（尺田） 「3」っていう数なんですけど、3人グループってあまりよくないんですよね、偏ったりとか。3人のうち2人が知り合いだったら、1人はどうしても引っ込み思案になったりとかであまり意見が出なかったりというのが過去にもあったんですけど、こういう仲よしとか、そうではないというのが。なので、4人ぐらいがいいのかなと。

あと、あわせてちょっと聞きたいんですけど、何で6グループなんだろう。あと2グループぐらいはつくれるんじゃないのかなというふうに思ったんですが、もし人が多かったらあと2グループぐらい追加ができるのかな。受付の人に言ったら怒られそうだけど、受付3人おるんだけど、2人ぐらいをその後回せるんじゃないのかなというふうに思うんですが。どうなんでしょう。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） スペースの関係と、あとラウンドするんですよ、これ。グループが多かったらラウンドはどうなったんですかね。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉委員長（中島） どうでしょうかね。確かに尺田議員が言われるように3名の方、暇なんじゃないかと思うので。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 我々は仕事やから。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉委員長（中島） それは冗談ですが。

何か一緒に入ってするとどうなんかなということもあることはありますけど、スペースがないということであれば、手狭いかも分らんけど、ちょっと考えてみまじょうか。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 片川議員。

~~~~~○~~~~~

○議員（片川） 小学生ということを考えて、あわせて夏休みなんよね。これどれだけの



人数が応募してくれるんかなというところが甚だ疑問なんだけど、人数を少なく絞ったって、あれが手を挙げるんなら私は遠慮しとこうかというようなことも子供ながらありやせんかのいうこともあって。恐らく門戸をえっと開いてもえっと来やしませんよ、多分ね。だから、割と広げとって、応募された人数を見て運営方法をちょっと変えていくような形でやったほうがいいんかも分らんということもあったかね。

それと、多いほど口を開きやすいんじゃないんかなという気がしますね、小学生は。中学生は、今も沖田議員が言ったように、ある程度練習もしてきただろうし、ある程度己いうものができてきとる世代ですから、ただ、小学生もしっかりしとる子はしっかりしとるんでしょうけど、引っ込み思案の子はとことん引っ込み思案。でも出てみたい、言うてみたいというところの中から出席されたら、口が開きやすい環境をちょっと与えてあげるべきなんじゃないかな。

ただ人数をちょっと門を広げてみるんがいいんじゃないんかないう気がしますね。恐らくそんなに困るほどたくさん来ないと思いますし。時期もありますし。ちょっと幅を広げて募集してみたらどうですかね。それでホストを増やすじゃなけれりゃ、ベテランさんが3人ほど受付座とりさるんだから、今、尺田議員がおっしゃったように。ちょっと広げてみたらどうでしょうかね。口を開きやすい環境をつくるんが一番大事なことじゃろうと思うんですよね。どうでしょうかね。

~~~~~〇~~~~~

○議長（時光） いろいろ御意見いただきましたが、最初、委員会の中で人数が集まるんだろうかという心配があったものですから、こういう数字も出たということもあるんですが。皆さん御意見をいろいろ聞いた上で、今、片川議員が言われたように、定員30名ということにしまして、30名来ればテーブル数を増やす、少なければ今の形でやっていくということで一応やらしてもらっていいかと思いますが、委員長、どうでしょうか。

~~~~~〇~~~~~

○文教福祉委員長（中島） はい、大丈夫と思います。いろいろ意見の中で、やっぱり3人よりは、3人の中での不安を増やすよりは5人ぐらいおったほうが、5人、4人ぐらいおったほうがいいだろうと思うので、その辺はまた教育委員会とは少し相談するということで、皆さんからいただいた意見をちょっと踏まえて教育委員会のほうとまた協議させてもらいたいと思います。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） よろしいですかね、皆さん。

（「はい」の声あり）

○議長（時光） それでは、文教福祉委員会の活動状況についてはこの程度とし、次の報告に移りたいと思います。

続いて、「議会運営委員会の活動状況について」、議会運営委員長から説明を受けたいと思います。

片川委員長、お願いします。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議会運営委員長（片川） 臨時会当日の9時から、臨時会について議会運営の会議をいたしました。

内容は通常定例会と同じでございますが、変わったこととすれば、まず地元選出国会議員に対する要望書についての報告がございまして、議長、副議長が東京で会議があるということで、そのときに合わせて要望書を提出するという報告がございました。その内容については、あとまた議長から報告いただきます。

それとそれに関して、ここ数年、同じ要望書になっております。いろいろ周りの市町村にいろいろな動きもある中、それから県道の拡張なんかもありまして、熊野の中の状況も随分変わりつつあるところもあります。ということで、皆さんもいろいろ思われることがあるだろうと思うんです。この際ですから、せっかく議長、副議長が行かれるので、皆さんの頭にあることを議長、副議長に報告されて、これ必要であろうというところの要望は挙げてもらえるように、各議員は議長、副議長にお話してください。

それともう一点、議会の申合せ事項について新しい協議でございまして、今年度について議会の開催が月始めということでございまして、執行部側から調整の時間が足りないということでございましたので、申合せを変えて一般質問の締切りについて協議いたしまして、今回から、9月から変えようということで話をさせていただきました。

また必要に応じて、執行部、議会側双方にまた不都合があれば、また申合せを変えることもあると思いますので、よろしくお願いします。ということでございます。

議長、要望書についてお願いできますか。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） はい。後ほど説明をまたさせていただきます。

ただいまの報告について質疑があればお願いします。

(「質疑なし」の声あり)

○議長(時光) ないようですので、議会運営委員会の活動状況についてはこの程度とし、次の報告に移りたいと思います。

協議案件「議員の派遣について」を議題としたいと思います。

事務局長のほうから説明をさせます。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長(桐木) それでは、お手元の議員の派遣についてを説明させていただきます。

派遣の内容としましては、視察研修により、10月8日木曜日から9日金曜日までの2日間を案としています。

視察研修でございますが、宮城県大和町と岩手県紫波町を視察先としています。

お手元の資料にもございますが、岩手県紫波町は、公共交通の分野で、地域特性に応じた持続可能なネットワークの再構築に関して非常に参考になる取組を行っています。

また、宮城県大和町は、議会改革の取組についてで、議員の成り手不足解消のため、住民参加でこれからの議会と議員の在り方を考えるプロジェクトを立ち上げ、一定の成果を上げています。以上により、案として選定させていただいています。

なお、この議員の派遣につきましては、会議規則第127条の規定により議決が必要となります。この案でよいというものでございましたら、6月の定例会に上げさせていただこうと思っています。

以上で議員派遣の説明とさせていただきます。

~~~~~○~~~~~

○議長(時光) 若干補足ですが、この岩手県紫波町は、実は私も30年前からこの辺をちょろちょろする中で、特にこの10年、もう田んぼの中がとんでもない町になりまして、役場を含めて様々な施設が集約されたすばらしい町になっております。

これに関しては「オガールプロジェクト」というのがありまして、本来なら、特にこれに関して講習を受けたいと思ったんですが、最近視察受けに関して非常に高い金額を言ってくると、全国からですね。ということなんで、それ以外のまちづくりに関しても先進的なものが随分ありましたので、まずそちらのほうを中心に。オガールに関しては、我々が現場をいろいろ見ていけばと思ひまして。さらにこのオガールプロジェクトに関

しては、滋賀県の研修がございましたよね、沖田議員と竹爪議員が行かれるということで、その辺をよく聞いていただいて、逆に現場で説明をしていただければという部分もありまして、一つ提案をさせてもらいました。

もう一つのほうは、成り手不足ではあるんですが、そうではなくて、町民との様々なコミュニケーションの取り方がありまして、ここらは非常に参考になる部分があると思いますので、この2か所に関して今回は1泊で。飛行機に乗ってしまえば、日程的には10時頃に乗れば昼前に着くというような状況ですので、1日目岩手、新幹線、電車に乗れば仙台、盛岡に1時間ぐらいのもので、ちょっと無理がないかなということでこれを提案させてもらいましたので。

この件に関して何か質疑はございませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○議長(時光) それでは、「議員の派遣について」は以上のとおりにしたいと考えますが、御異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(時光) 異議がないようですので、議員の派遣については準備を進めさせていただきたいと思います。

なお、準備の都合上、ちょっと早いんですが、御参加できない方は7月2日までに事務局のほうに申し出てください。派遣先への質問事項も調整しますので、併せてお願いします。

また、定例会では、ただいまの内容で議員派遣の議決をいただきたいと思いますので、皆さんよろしく願いいたします。

それでは、以上をもちまして全員協議会は終了といたします。

(閉会 10時18分)

上記の記録の内容が正確であることを証するため署名する。

熊野町議会議長

熊野町議会副議長